

- 問1 三重県の志摩半島や福井県の若狭湾周辺に見られる、かつての山地の谷が海に沈むことで形成された、複雑に入り組んだ海岸線の名称を何といいますか。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
1. リアス海岸 2. 砂州 3. 干拓地 4. 海岸段丘
-
- 問2 自然災害による被害を最小限に抑えるために自治体などが作成している地図について、その内容を説明した次の文の（ ）にあてはまる最も適切な語句を選びなさい。「この地図は、科学的な根拠に基づいて大雨の際の（ ）や土砂災害の危険箇所を予測し、避難場所や避難経路などの情報を住民に提供することを目的としている。」 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
1. 浸水予想区域 2. 等高線の密度 3. 土地利用の変遷 4. 地価の公示価格
-
- 問3 東北地方の太平洋側の海上から、陸地に向かって「やませ」と呼ばれる冷たく湿った風が長期間吹き続けた際に、米などの農作物の収穫量が大きく減少する現象を何といいますか。 (2024年 高知県公立入試 類似)
1. 風害 2. 塩害 3. 冷害 4. 干害
-
- 問4 山口県を流れる阿武川の河口付近に位置する萩市の市街地は、河川が運んだ砂や泥が堆積してできた平坦な地形の上に広がっています。このような地形の成り立ちと土地利用の特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
1. かつて海底だった場所が隆起して形成された階段状の地形で、現在は畑や住宅地として利用されている。 2. 河川が山地から平地に出る付近に土砂を堆積させて形成され、水はけが良いため果樹園に利用されることが多い。 3. 河川が運搬した土砂が河口付近に堆積して形成され、古くから水田や住宅地として利用されてきた。 4. 河川の浸食作用によって周囲より一段低くなった土地で、主に大規模な工業団地として利用されている。
-
- 問5 日本の地表に見られる地形のうち、火山の噴火に伴う陥没によって形成された「カルデラ」が多く分布する山脈として適切なものはどれか、次から選びなさい。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. 木曽山脈 2. 奥羽山脈 3. 飛騨山脈 4. 赤石山脈
-
- 問6 三重県の志摩半島や岩手県の三陸海岸南部に見られる、山地が沈んだり海面が上昇したりすることで形成された、鋸歯（のこぎりの）のように複雑に入り組んだ海岸地形を何というか、名称を答えなさい。 (2016年 香川県公立入試 類似)
1. 海岸段丘 2. 干拓地 3. 砂浜海岸 4. リアス海岸
-
- 問7 長崎県のように、陸地の面積が比較的小さいにもかかわらず、海岸線の総延長が非常に長い地域で見られる、出入りの複雑な海岸地形を何といいますか。 (2024年 北海道公立入試 類似)
1. リアス海岸 2. 三角州 3. フィヨルド 4. 砂州
-
- 問8 三重県桑名市周辺の2万5千分の1地形図において、東名阪自動車道という高速道路や、学校、寺院を含む集落が描かれています。ある地点から撮影された景観写真には、手前に広がるビニールハウス群と、その奥を左右に横切る高架の高速道路が写っています。この写真の撮影場所を地形図から特定する際、地図記号や土地利用の観点から判断する方法として最も適切なものはどれですか。 (2025年 兵庫県公立入試 類似)
1. 寺院の地図記号が並ぶ歴史的町並みの中心部を特定し、そこから最も近いインターチェンジの方向を撮影地点とする。 2. 地形図上で「田」や「畑」の記号が広がる平地を探し、その視線の先に高速道路の記号が位置する地点を照合する。 3. 地形図上の等高線が密集している急傾斜地を探し、山間部にある「桑」の地図記号と写真のビニールハウスを照合する。 4. 高速道路と鉄道の地図記号は同一であるため、駅の記号から一定の距離にある広葉樹林の記号が密集する場所を探す。
-
- 問9 日本列島の地質構造において、日本アルプスの東側に位置し、南北に伸びる巨大な地溝帯を何と呼びますか。この地帯を境にして、日本列島の地形や地質構造は東西で大きく異なっています。 (2023年 高知県公立入試 類似)
1. 中央構造線 2. フォッサマグナ 3. 日本海溝 4. 環太平洋造山帯
-
- 問10 三陸海岸南部のように、山地が沈水して複雑な海岸線を持つ地形について、その成り立ちと利用に関する説明として最も適切なものはどれか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
1. 山地が沈水して水深の深い入り江が形成されるため、波が静かで養殖業や良港に適している。 2. 河口付近に土砂が堆積してできた平坦な地形で、水はけが悪いため主に水田として利用される。 3. 海岸沿いに砂が堆積して形成された単調な地形で、大規模な港湾の整備には適していない。 4. 海沿いの浅瀬を堤防で仕切り、排水して陸地にしたもので、大規模な農地として利用される。
-
- 問11 ある地域の防災資料において、浸水の深さに応じて地図が色分けされ、さらに避難所や警察署、消防署の位置、河川監視カメラの設置場所が記されています。このような地図が作成・活用されている背景や目的として、最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
1. 過去の統計に基づき、農作物の収穫量が減少した地域を特定し、農業支援を行うため 2. 都市部の人口密度を可視化し、警察や消防の最適な配置計画を策定するため 3. 地形の起伏を等高線で詳細に表し、大規模な公共施設の建設予定地を選定するため 4. 自然災害時の被害想定を事前に住民へ知らせ、迅速かつ適切な避難行動を促すため
-
- 問12 日本の気候区分のうち、瀬戸内地域の気候の特色を正しく説明しているものはどれか。なお、この地域は北側に中国山地、南側に四国山地が位置しているものとする。 (2019年 香川県公立入試 類似)
1. 年間を通じて降水量が少なく、温暖で晴天の日が多い。 2. 冬は北西の季節風の影響で多く、夏は太平洋高気圧の影響で乾燥して晴天が続く。 3. 一年を通じて降水量が多く、特に梅雨や台風の時期には湿った空気が流れ込み、大雨になりやすい。 4. 夏は南東の季節風により降水量が多くなり、冬は乾燥した晴天の日が続く。
-
- 問13 都市部の気温が周辺の郊外に比べて高くなる「ヒートアイランド現象」が発生する要因として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)
1. アスファルトやコンクリートで地表面が覆われ、人工排熱が増加すること 2. 都市部で大規模な森林開発が行われ、光合成による冷却効果が失われること 3. 温室効果ガスの放出が増えることで、大気圏に熱が閉じ込められること 4. 季節風の通り道に高いビルが建ち、海からの湿った空気が遮断されること

答え合わせ・解説

問1	答え 1 リアス海岸	起伏の多い山地が沈水したり、海面が上昇したりすることで、谷の部分に海水が入り込んで形成される地形です。近畿地方付近では志摩半島や若狭湾が代表的であり、他にも東北地方の三陸海岸南部などが有名です。
問2	答え 1 浸水予想区域	ハザードマップは、自然災害による被害を予測し、その範囲を地図上に示したものです。具体的には、大雨の際の浸水予想区域や土砂災害の危険箇所、避難場所などが記載されています。これにより、住民は平常時から自分たちの住む地域のリスクを確認し、迅速かつ安全な避難行動につなげることができます。
問3	答え 3 冷害	「やませ」は非常に冷たい空気を含んでいるため、夏場にこの風が吹き続けると東北地方の太平洋側を中心に気温が上がらない「冷夏」となります。その結果、特に稲の成長が妨げられ、収穫量が激減する「冷害」が発生します。これに対し、奥羽山脈を越えた日本海側では、風が山を越える際に乾燥し高温になる「フェーン現象」によって、冷害の影響を受けにくいという特徴があります。
問4	答え 3 河川が運搬した土砂が河口付近に堆積して形成され、古くから水田や住宅地として利用されてきた。	三角州は河口付近に形成される非常に高度の低い平坦な土地です。土砂が堆積してできた肥沃な土地であり、水も得やすいため、古くから水田や人の集まる住宅地として利用されてきました。選択肢にある「山地から平地に出る付近」に形成されるのは扇状地であり、三角州とは形成場所や主な用途（果樹園など）が異なります。
問5	答え 2 奥羽山脈	日本列島の東側に位置する火山帯に沿って形成された山脈であり、十和田湖などに代表されるカルデラ地形が複数存在します。飛騨・木曽・赤石の各山脈は日本アルプスと呼ばれ、プレートの衝突や隆起といった地殻変動によって形成された峻険な山々が中心です。
問6	答え 4 リアス海岸	山地の谷の部分に海水が入り込むことで、深い入り江と岬が交互に並び複雑な海岸線が形成されます。日本では志摩半島のほかに、若狭湾や三陸海岸南部が代表例として知られています。このような地形は「沈水海岸」の一種に分類されます。
問7	答え 1 リアス海岸	起伏の多い山地が地殻変動で沈んだり、海面が上昇したりすることで、谷の部分に海水が入り込んで形成されます。地形が複雑に入り組むため、面積に対して海岸線が長くなるのが特徴です。日本では長崎県のほか、岩手県の三陸海岸や三重県の志摩半島が代表例として知られています。
問8	答え 2 地形図上で「田」や「畑」の記号が広がる平地を探し、その視線の先に高速道路の記号が位置する地点を照合する。	地形図の読解において、ビニールハウスが広がる景観は、地図記号では「田」や「畑」として示される土地利用と対応します。これに加えて、特徴的な構造物である高速道路（地形図では道路の太さや種類で判別可能）との位置関係や、写真に写る視界の方向（方位）を地形図上の記号配置と照らし合わせることで、撮影地点を正確に特定することができます。高速道路を鉄道と誤認しないことや、平坦な土地利用記号を読み取ることが重要です。
問9	答え 2 フォッサマグナ	フォッサマグナはラテン語で「大きな溝」を意味し、明治時代にナウマンによって命名されました。日本列島を東日本と西日本に大きく分ける地質学的な境界線であり、この溝を新しい地層が埋めることで現在の地形が形成されています。単なる山脈ではなく、地球規模の大きな割れ目のような構造をしているのが特徴です。
問10	答え 1 山地が沈水して水深の深い入り江が形成されるため、波が静かで養殖業や良港に適している。	リアス海岸は、複雑に入り組んだ地形の影響で外海の波が入り江の奥まで届きにくく、波が穏やかになります。また水深も深いため、カキやワカメなどの養殖業や、大型船が停泊できる天然の良港として活用されてきました。一方で、津波が発生した際には入り江の奥で波が高くなりやすいという防災上の課題もあります。
問11	答え 4 自然災害時の被害想定を事前に住民へ知らせ、迅速かつ適切な避難行動を促すため	設問にある地図はハザードマップ（被害予測地図）を指しています。これは単なる統計地図や地形図とは異なり、災害が発生した際にどのような被害が出るかという「被害想定」を可視化したものです。浸水の深さや避難場所の情報を住民が事前に共有しておくことで、災害発生時の混乱を防ぎ、被害を最小限に抑える（減災）という目的があります。
問12	答え 1 年間を通じて降水量が少なく、温暖で晴天の日が多い。	瀬戸内地域の気候（瀬戸内の気候）は、北の中国山地と南の四国山地が湿った空気を遮る壁のような役割を果たすため、全国的に見ても年間降水量が非常に少ないのが特徴です。また、緯度が比較的低く、海に囲まれているため、年間を通じて温暖な気候となります。この「雨が少なく温暖」という特性を活かし、古くから塩田での塩作りや、オリーブ、かんきつ類の栽培が行われてきました。
問13	答え 1 アスファルトやコンクリートで地表面が覆われ、人工排熱が増加すること	都市化が進むと、植物による蒸散作用や土壌による吸水が失われ、熱を蓄えやすいアスファルトやコンクリートの面積が増えます。これに加えて、経済活動や生活に伴う空調・自動車などの熱が放出されることで、局地的に気温が上昇します。これが熱帯夜の増加や、特定の場所での強い雨（ゲリラ豪雨）の誘発に関係していると考えられています。